

東日本大震災被災地の初等・中等教育を支援
本学教員が出張講義(理科実験)を実施

日程：9月5日(月)～9日(金) 場所：宮城県石巻市立石巻小学校ほか

関西大学では、本学教員による東日本大震災被災地における小中学校への出張講義(理科実験)を、下記のとおり実施します。

今回の取組みは、被災した多くの学校で地震発生後半年が過ぎた今でも小中学校での正規授業で理科実験ができないのではないかと懸念し、本学から被災地の教育委員会に提案して実現したものです。

本学では、戦略的大学連携事業として、これまでも大学周辺の小学校への出張講義を実施しています。本年度春学期には高槻市内17小学校への出張講義を実施し、また、夏期学休期には同事業、理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。

このたびの出張講義は、東日本大震災復興協力の一助として、被災地での初等・中等教育の支援、近年問題となっている理科離れの抑制、学習意欲の維持のみならず、被災地の方々や将来を担う小中学生を元気づける機会になるものと期待しています。

記

- 1 日 程 9月5日(月)～9日(金)
- 2 場 所 宮城県石巻市立石巻小学校ほか
- 3 講 師 化学生命工学部 河原 秀久 准教授、山出 和弘 講師
システム理工学部 倉田 純一 准教授
- 4 対 象 小学生

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 石田、北谷、小野

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0201 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

東日本大震災被災地における小中学校への出張講義実施概要

1. 背景

本学戦略的・大学連携事業において、本年度春学期に高槻市内17小学校への出張講義を実施し、また、夏期学休期には同事業、理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。特に、高槻市内での小学校の出張講義では、本格的な装置を持ち込んでの講義実施が教諭・児童・生徒の関心を高め、受講態度は非常に熱心で、実施希望学校数も年々増加しています。

このように、種々の理科教育支援事業が実施される地域がある一方で、被災地、特に沿岸地域の学校では多くの施設が被災しており、公立小中学校での正規授業では理科実験の機会が全くないのではないかと懸念されていました。

2. 目的

- ・被災地での初等・中等教育を支援すること
- ・設備整備の目処がつかない理科実験環境で、効果的な理科実験授業を実施すること

3. 期待される効果

- ・被災地の日常的な理科授業が行えない状況で、実験を通して理科の楽しさを体験することができる
- ・学習困難な地域で生徒の学習意欲を維持する
- ・出張講義実施にあたり、保護者などの協力を得て共同実施することによって、地域での人的つながりと教育の重要性を意識することができる

4. スケジュール・実施場所

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
9月5日(月)					石巻市教育委員会と下見	
6日(火)		貞山小4~6年			和湊小4	和湊小4~6年
7日(水)					石巻小4~6年	
8日(木)		蛇田小6年				
9日(金)		湊小4~5年				

5. 内 容 (以下の中から、状況に合わせて選択的に実施)

【小学校カリキュラムと連動した出張講義として】

植物細胞および花粉の顕微鏡による観察、筋肉の動きと腕の動きの理解

【小学校カリキュラムと連動しない理科教室として】

簡単顕微鏡の作成

6. 実施者：化学生命工学部 准教授・河原 秀久、講師・山出 和弘 システム理工学部 准教授 倉田 純一

以 上